ああはるはる おおいなるかな はるとうんぬん

あおざしや くさもちのほに いでつらん

あおやぎの どろにしだるる しおひかな

あかあかと ひはつれなくも あきのかぜ

あきかぜに おれてかなしき くわのつえ

あきかぜの ふけどもあおし くりのいが

あきかぜの やりどのくちや とがりごえ

あきかぜや きりにうごきて つたのしも

あきかぜや やぶもはたけも ふわのせき

あきらいに けりみみをたずねて まくらのかぜ

あきこぬと つまこふほしや しかのかわ

しゅうりょうしてごとにむけやふりなすび

あきちかきこころのよるやよじょうはん

あきじゅうねんかえってえどをさすこきょう

あきにそうていかばやまつはこまつがわ

あきのいろぬかみそつぼもなかりけり

あきのかぜいせのはかはらなほすごし

あきのよるをうちくずしたる咄かな

あきふかきとなりはなにをするひとぞ

あきもはやはらつくあめにつきのかたち

あきをへてちょうもなめるやきくのろ

あけぼのはまだむらさきにほととぎす

あけぼのやしらうおしろきこといちすん

あけいくやにじゅうななやもさんにちのつき

あこくそのこころもしらずうめのはな

あさがおにわれはめしくうおとこ哉

あさがおはさかもりしらぬさかり哉

あさがおはへたのかくさへあはれなり

蕣やこれもまたわがともならず

あさがおやひるはじょうおろすもんのかき

あさちゃのむそうしずかなりきくのはな

あさつゆやなでてすずしきふりのど

あさなあさなて習ひすすむきりぎりす

あさむつやつきみのたびのあけはなれ

あさよるさをだれがまつしまぞかたこころ

あしあらうてつひあけやすきまるねかな

あじさいやかたびらじのうすあさぎ

あじさいややぶをしょうにわのべつざ舗

あしたのつきううらないなはんひ那がたけ

あしたはちまきなんばのかれはゆめなれや

あそびこぬふぐつりかねてななりまで

あちこちやめんめんさばきやなぎかみ

あつきひをうみにいれたりもがみがわ

あつみさんやふくらかけてゆうすずみ

あなたふとこのしたやみもひのひかり

あなむざんやかぶとのしたのきりぎりす

あのくもはいなづまをまつたより哉

あのなかにまきえかきたししゅくのつき

あもうのかおまづみるらるるやからしのはな

あもうのやはこえびにまじるいとど哉

うおりおりおもふことなきさなえ哉

うのひやせけんのあきをさかいまち

あやめせいひけりのきのいわしのされかうべ

あやめくさあしにむすばんぞうりのいとぐち

あゆのこのしらうおおくるわかれ哉

あらうみやさどによこたふあまのがわ

あらしやまやぶのしげりやかぜのすじ

あらたふとあおばわかばのひのひかり

あらなんともなやきのうはすぎてふぐじる

霰きくやこのみはもとのふるかしわ

霰せばあじろのひうおをにてしゅっさん

霰まじるかたびらせつはこもんかな

ありあけもさんじゅうにちにきんしもちのおと

ありがたきすがたおがまんかきつばた

ありがたやいただいてふむはしのじも

ありがたやゆきをかをらすなんや

ありとあるみたてにもにずさんにちのつき

あわひえにとぼしくもあらずくさのいおり

かはみなつえにはくはつのはかまいり

いかうりのこえまぎらはしほととぎす

いかめしきおとや霰のひのきかさ

いきながらひとつにこおるなまこかな

いくじもにこころばせをのまつかざり

いざだしでむゆきみにころぶところまで

いざこどもはしりありかんだま霰

いざこどもひるがおざきぬふりむかん

いざさらばゆきみにころぶところまで

いざともにほむぎくえはんくさまくら

いざくだりかむゆきみにころぶところまで

いざよひのいづれかけさにのこるきく

じゅうろくやはわづかにやみのはじめ哉

じゅうろくやもまださらしなのぐんかな

じゅうろくややえびにるほどのよいのやみ

いさりびにかじかやなみのしたむせび

いしかれてみずしぼめるやふゆもなし

いしのこうやなつくさあかくあらわあつし

いしやまのいしにたばしる霰哉

いしやまのいしよりしろしあきのかぜ

いづくときあまがさをてにさげてかえるそう

しじんにいでこれうらむかさのゆき

しじんよこのかさうらうゆきのかさ

いつつむっつちゃのこにならぶいろり哉

いてどけてふでにくみほすしみず哉

いでやわがよきぬのぎたりせみころも

いとざくらこやかえるさのあしもつれ

いと遊にむすびつきたるけむり哉

いねすずめちゃのきばたけやにげしょ

いなづまにさとらぬひとのとうとさよ

いなづまやかおのところがすすきのほ

いなづまややみのほういくごいのこえ

いなづまをてにとるやみのしそく哉

いねこきのうばもめでたしきくのはな

いのししのゆかにもはいるやきりぎりす

いのししもともにふかるるのわけかな

いのちこそいもしゅよまたきょうのつき

いのちなりわづかのかさのかすずみ

いのちふたつのなかにいきたるさくらかな

いもあらいふおんなさいぎょうならばうたよまむ

いもうえゑてもんはむぐらのわかばかな

いもしゅやはなのさかりにうりあるく

いものはやつきまつさとのやきばた

いらごさきにるものもなしたかのこえ

にゅう逢のかねもきこえずはるのくれ

いりかかるひもいと遊のなごりかな

はいるつきのあとはつくえのよすみ哉

いろづくやとうふにおちてうすこうよう

いわつつじしむるなみだやほととぎしゅ

しょくうることこのごとくせよこさくら

ぎょとりのこころはしらずとしわすれ

うかれけるひとやはつせのやまざくら

うきひとのたびにも習へきそのはえ

うきふしやたけのことなるひとのはて

うきわれをさびしがらせよあきのてら

うきわれをさびしがらせよかんこどり

うぐいすのかさおとしたるつばきかな

うぐいすやたけのこやぶにろうをなく

うぐいすややなぎのうしろやぶのぜん

うぐいすやもちにくそするえにしのせん

うぐいすをたましいにねむるか矯柳

うしへやにかのこえくらきざんしょ哉

うめひもしょうゆやなみだの烹ゆるおと

うめひやかべにはきゃくのかげぼうし

うたがふなしおのはなもうらのはる

うちよりてはないれさぐれうめつばき

うちさんやとざましらずのはなざかり

うちわもてあふがんじんのうしろむき

うつくしきそのひめふりやきさきざね

うのはなもははなきやどぞひやじき

うのはなやくらきやなぎのおよびごし

うばざくらさくやろうごのおもひで

うまかたはしらじしぐれのおおいがわ

ばにねてざんむつきとおしちゃのけぶり

ばぼくぼくわれをえにみるなつのかな

ばをさえながめむるせつのちょうかな

うみくれてかものこえほのかにしろし

うみははれてひえいぶりのこすごがつ哉

うめがこうについひもどさるるさむさかな

うめがこうにのつとひのでるやまじ哉

うめがこうにむかしのいちじあはれなり

うめがこうやしらら落窪きょうたろう

うめがこうやみぬよのひとにぎょいをえる

うめこいひてうのはなおがむなみだかな

うめしろしきのうやづるをぬすまれし

うめつばきはやざきほめんほびのさと

うめのきになおやどりぎやうめのはな

うめまれにいちもとゆかしこりょうのたち

うめやなぎさぞわかしゅかなじょかな

うめわかなまるこのやどのとろろじる

うらやましうきよのきたのやまざくら

ふりつくるきみがあれなとゆうすずみ

ふりのかわむいたところやれんだいの

ふりのはなしずくいかなるわすれぐさ

えいりょにてにぎわわふみんのにわかまど

えだぶりのひごとにかわるふようかな

えだもろしひからかみやぶるあきのかぜ

えのきのみちるむくのはおとやちょうあらし

えびすこうすうりにはかまぎせにけり

つやなるやついまようはなにろうときす

ろうのなのありともしりらでしじゅうから

きゅうもたちもごがつにかざれかみのぼり

おおいがわはにちりなしなつのつき

おおかみもいちやはやどせはぎがもと

おうぎにてさけくむかげやちるさくら

そふおやまごのさかえやこけらみかん

おおつえのふでのはじめはなにふつ

だいひえいやしのじをひいてひとかすみ

おうみがやあせやさざなみよるのゆか

おきあがるきくほのかなりすいのあと

おぎのこえこやあきかぜのくちうつし

おぎのほやあたまをつかむらしょうもん

おきよおきよわがともにせんねるこちょう

おくられつわかれつはてはきそのあき

みこりょうこのいちほんゆかしうめのはな

ようみょうやしらぬおきなのまるずきん

おちくるたかくのやどのかっこう

おとろえひやぱにくえひあてしのりのすな

おのれがひをきぎにほたるやはなのやど

おのずみやて習ふじんのはいぜせり

おめいこうやあぶらのようなさけごしょう

おもひたつきそやしがつのさくらがり

おもかげやうばひとりなくつきのとも

おもしろうてやがてかなしきうぶねかな

おもしろきあきのあさねやていしゅぶり

おもしろしゆきにやならんふゆのあめ

おもしろやことしのはるもたびのそら

おらんだもはなにきにけりばにくら

おりおりにいぶきをみてはふゆごもり

おりおりはすになるきくのさかなかな

かおににぬほっくもででよはつさくら

かゝりひにかじかやなみのしたむせひ

かきつばたかたるもたびのひとつかな

かきつばたにたりやにたりすいのかげ

かきつばたわれにほっくのおもひあり

かきよりはのりをばろうのうりもせで

かくさぬぞやどはさいじるにとうがらし

かくれがやつきときくとにたさんたん

かくれがやめだたぬはなをのきのぐり

かくれけりしわすのうみのかいつぶり

けいきよしもはなみのざにはしちべえ

さんばしやいのちをからむつたかずら

さんばしやせんづおもいでづこまむかえへ

かげはてんのしたてるひめかげつのかお

かげまちやきくのこうのするとうふくし

かげろふにおもかげつくれせきのじょう

かげろふのわがかたにたつかみこかな

かげろうやしばえびすのいとのうすぐもり

ふうしょくやしどろにうえゑしにわのあき

かさじまはいづこごがつのぬかりどう

かさでらやもらぬいわやもはるのあめ

かさもなきわれをしぐれるるかこはなんと

かしのきのはなにかまはぬすがたかな

かずきふすふとんやさむきよるやすごき

すうならぬみとなおもひそたまさい

ふうかおるはおりはえりもつくろはず

ふうのこうもみなみにちかしもがみがわ

ふうふけばおこまかうなるいぬさくら

すうへこぬやしきやしきのうめやなぎ

かたつぶりかくふりわけよすまめいせき

かたられぬゆどのにぬらすたもとかな

とほならばつえ突坂をらくばかな

かつおうりいかなるひとをよいはすらん

かつらだんすまずなりけりあめのつき

かどまつやおもへばいちやさんじゅうねん

かなしまんやぼくこせりしょうをみてもなお

こうににおいへうにほるおかのうめのはな

がねきえてはなのこうはつくゆう哉

がねつかぬさとはなにをかはるのくれ

なつばのちこうわれをえにみるこころかな

なつばぼくぼくわれをえにみるしげり哉

かぶとひにもつくばはせけりきみがはる

かまくらをいきてだしでけんはつがつお

かみとうつるみのおとろひやのりのすな

かみがきやおもひもかけずねはんぞう

しころもの濡るともおらんあめのはな

がみはえてようがんあおしさみだれ

びんわりるるよるのこおりのねざめ哉

がさにおしわけみたるやなぎかな

からしさきのまつははなよりおぼろにて

ひさけもくうやのやせもかんのなか

からはふのいりひやうすきゆうすずみ

がりあとやわせかたかたのしぎのこえ

がりかけしたおものづるやさとのあき

かりききにきょうのあきにおもむかん

かりさわぐとりわのたおもやかんのあめ

かりてねんかかしのそでややはんのじも

かれえだにがらすのとまりたるやあきのくれ

枯芝やややかげろうのいちにすん

うそのまつりみてこよせたのおき

かわふうやうすこけらぎたるゆうすずみ

かわかみとこのかわしもやつきのとも

がをさぐるうめにぞうみるのきばかな

こうをのこすらんちょうらんのやどり哉

かんぎくや醴つくるまどのぜん

かんぎくやこぬかのかかるうすのはし

がんじつはたごとのひこそこいしけれ

もとひやおもえばさびしあきのくれ

かんのんのいらかみやりつはなのくも

灌仏のひにうまれあふかのこかな

灌仏やしわてあいするじゅずのおと

きくけいとうきりづくしけりおめいこう

きくにででてならとなんばはよいづきよ

きくのこうにくらがりのぼるせっくかな

きくのこうやならにはふるきふつたち

きくのこうやならはいくせいのおとこぶり

きくのこうやにわにきれたるくつのそこ

きくのろおちてじつへばぬかごかな

きくのごだいこんのそとさらになし

きくのはなさくやいしやのいしのはざま

きさかたやあめににしほどこせがごうかんのはな

きそのじょうせつやはえぬくはるのくさ

きそのとちうきよのひとのみやげかな

きそのやせもまだなほらぬにあとのつき

きついばもいおりはやぶらずなつこだち

きてみればししにぼたんのすまひかな

きてもみよじんべいがはおりはない

碪うちてわれにきかせよぼうがつま

きのうからちょつちょとあきもしぐれかな

きのもとにしるもなますもさくらかな

きみひをたけよきものみせんゆきまるげ

くんやちょうわれやそうこがゆめこころ

きよくきかんみみにこうやいてかっこう

きょうくこがらしのみはたけときににたるかな

きょうにあきてこのき枯やふゆじゅうひ

きょうにてもきょうなつかしやほととぎす

けふのこよいねるときもなきつきみ哉

きょうはきゅうまんきゅうせんくんじゅのはなみ哉

きょうばかりひともとしよれはつしぐれ

きょうまではまだはんあきやせつのくも

きょうよりやかきつけけしさんかさのろ

きよたきのみずくませてやところてん

きよたきやなみにちりなきなつのつき

梧うごくあきのおわりやつたのじも

きりぎりすわすれおんになくひ燵哉

きりさめのそらをふようのてんき哉

きりしぐれふじをみぬひぞおもしろき

きりのきにうずらなくなるへいのない

きをきりてほんくちみるやきょうのつき

きんへいのまつのふるさよふゆごもり

ぐあんずるにめいどもかくやあきのくれ

くいななくとひとのいへばやさたとまり

そういろいろおのおのはなのてがらかな

くさのとにちゃをこのはかくあらし哉

そうのとのつきやそのままあみだぼう

そうのともすみかわるだいぞひなのいえ

そうのとやひぐれてくれしきくのさけ

そうのとをしれやほたでにとうがらし

そうのはをおつるよりとぶほたる哉

くさまくらけんもしぐれるるかよるのこえ

くさまくらまことのはなみしてもこよ

くさもきもはなれきつたるひばりかな

くずのはのめんみせけりけさのじも

やくのむさらでもじものまくらかな

くたびれてやどかるころやころやふじのはな

くちせつにさかいのにわぞなつかしき

くにぐにのはっけいさらにきひのつき

ぐにくらくいばらをつかむほたるかな

くまさかがゆかりやいつのたまさい

くもをりをりひとをやすめるつきみかな

うんむのざんじひゃくけいをつくしけり

くもとへだつともかやかりのいきわかれ

蜘何とおとをなにとなくあきのかぜ

ぐものみねいくつくずれてつきのやま

ぐもをねにふじはすぎなりのしげりかな

くらつぼにこぼうずのるやだいねびき

くれくれてもちをきだましいのわびね哉

くろもりをなにといふともけさのゆき

さわらやはななきちょうのよ捨酒

けいとうやかりのくるときなほあかし

けごろもにつつみてぬくしかものあし

けさのゆきねぶかをえんのしおり哉

けしずみにたきぎわるおとかをののおく

じつにやげっかんくちせんきんのとおりまち

こえすみてほくとにひびくきぬた哉

こえよくばうたいはうものをさくらちる

こうのとりのすにあらしのそとのさくら哉

こうのとりのすもみらるるはなのはごし哉

こうばいやみぬこいつくるたますだれ

かわほりもででようきよのはなにとり

ごおりにがく偃鼠がのどをうるほせり

こがくれてちゃつまみもきくやほととぎす

き枯にいわふきとがるすぎかんかな

こがらしににおいひやつけしがえりはな

こがらしやたけにかくれてしづまりぬ

こがらしやほおしゅいたむひとのかお

こけうめむつたのうつつのねんぶつ哉

きゅうたびおきてもつきのななつ哉

こしちょうやつるはぎぬれてうみすずし

こずえよりあだにおちけりせみのから

しょうたい插すやなぎすずしやあまがいえ

こちらむけわれもさびしきあきのくれ

こちょうにもならであきへるさいちゅう哉

きんばこやふるものてんのせどのきく

こどもとうよひるがおざきぬふりむかん

こにあくともうすひとにははなもなし

このあきはなんでとしよるくもにとり

このあたりめにみゆるものはみなすずし

このうみにわらじすてんかさしぐれ

このうめにうしもはつねとなきつべし

このこころすいせよはなにごうつわいちぐ

このしゅとおもひこなさじとうがらし

このづちのむかしつばきかうめのきか

このてらはにわいちさかずきのばせを哉

このはちるさくらはけいしひのきかさ

このほたるたごとのつきにくらべみん

このほどをはなにれいいふわかれ哉

このまつのじつはえせしだいやかみのあき

このみちをいくひとなしにあきのくれ

このやどはくいなもしらぬとびらかな

このやまのかなしさつげよところほ

しょうはぎちれますほのおがいしょうさかずき

ごびょうねんへてしのぶはなにをしのぶくさ

ふるほうげんでどころあはれねんのくれ

こまかなるあめやふたばのなすびしゅ

べいかいひにゆきのふくろやとうずきん

こもりいてこのみそうのじつひろえはばや

こもをきてだれじんいますはなのはる

こよいだれよしののつきもじゅうろくり

こよいのつきとぎだせひとみいずもまもる

これやよのすすにそまらぬふるごうこ

ころもきておがいじつはんしゅのつき

ごをたいててぬぐいあぶるさむさ哉

こんにゃくにきょうはうりかつわかな哉

こんにゃくのさしみもすこしうめのはな

さいぎょうのいおりもあらんはなのにわ

さいぎょうのわらじもかかれまつのろ

さおとめにしかたのぞまんしのぶすり

さかずきにどろなおとしそぐんつばめ

さかずきにみつのなをのむこよいかな

さかずきのしたゆくきくやくちきぼん

さかずきややまじのきくとぜをほす

さかりぢやはなにすわ浮法しぬめりつま

ざかりなるうめにすてびきくふうもがな

さきみだすもものなかよりはつさくら

さくらがりきとくやひびにごりろくり

さくらよりまつはふたきをさんつきごし

さけのみにかたらんかかるたきのはな

しゅのめばいとどねられぬよるのゆき

しののろはかまにかけししげり哉

さざなみやかぜのかおるのあいひょうし

さざれかにあし這ひのぼるしみず哉

さしこめるむぐらのともかふゆさいうり

さぞなほしひじきぶつにはしかのかわ

ごがつのあめがんひばのみどりいつまでぞ

さとのこようめおりのこせうしのむち

さとびとはいねにうたよむとかな

さとふりてかきのきもたぬいえもなし

ざがしらかとひとにみられてつきみ哉

さなえとるてもとやむかししのぶすり

さなえにもわがいろくろきにっすう哉

さびしげにかきつけけしさんかさのろ

さびしさやいわにしみこむせみの聲

さびしさやくぎにかけたるきりぎりす

さびしさやはなのあたりのあすならふ

さまざまのことおもひだすさくらかな

さびしさやすまにかちたるはまのあき

さみだれにぎょもつとおやつきのかお

さみだれにかくれぬものやせたのはし

さみだれにづるのあしみじかくなれり

さみだれににおのうきすをみにゆかん

さみだれのそらふきおとせおおいがわ

さみだれのふりのこしてやひかりどう

さみだれはたきぶりうめむみかさ哉

さみだれもせぶみたずねぬみなれかわ

さみだれやおけのわせつるるよるのこえ

さみだれや蠶煩ふくわのはたけ

さみだれやいろがみへぎたるかべのあと

さみだれやねんねんふるもごひゃくたび

さみだれやりゅうあたまあぐるばんたろう

さみだれをあつめてはやしもがみがわ

さむからぬろやぼたんのはなのみつ

さむきたやもうえにすくむかげぼうし

さむけれどににんねるよるぞたのもしき

さらばちもほのかにやみのよいすずみ

さるひきはさるのこそでをきぬた哉

ざるをきくひとすてごにあきのふういかに

さればこそあれたきままのじものやど

さんしゃくのやまもあらしのこのは哉

ざんしょしばしてごとりょうれふりなすび

しいのはなのこころにもによきそのたび

しおえつやつるはぎぬれてうみすずし

しおたいのはぐきもさむしさかなのみせ

しおにしてもいざことづてんみやこどり

しをらしきなやこまつふくはぎすすき

しおれふすやよはさかさまのゆきのたけ

しかのかくまづいちせつのわかれかな

しぐるるやたのしんかぶのくろむほど

しぐれをやもどかしがりてまつのゆき

閑さやいわにしみいるせみのこえ

しずかさやえかかるかべのきりぎりす

しずのこやいねすりかけてつきをみる

しにもせぬたびねのはてよあきのくれ

しのぶさへかれてもちかいふやどりかな

しばしまもまつやほととぎすせんねん

しばづけしばのもどりやたうえだる

しばのとにちゃをこのはかくあらしかな

しばのとのつきやそのままあみだぼう

しばらくはたきにこもるやなつのはじめ

しばらくははなのじょうなるつきよかな

しほうよりはなふきいれてにおのなみ

しまじまやちじにくだきてなつのうみ

じも枯にさくはしんきのはなの哉

じものごなでしこさきけるひおけ哉

じもをきてかぜをしきねのすてご哉

じもをふんでちんばひくまでおくりけり

しゅうかいどうすいかのいろにさきにけり

じょうあけてつきさしいれよ浮御どう

しょうしょうのあまのはなしやしがのゆき

じょうろくにかげろうたかしいしのうえ

しよしなぬうきみのはてはあきのくれ

しょしゅんまづしゅにうめうるにおいひかな

しらうおやくろきめをあくほうのあみ

はくはつぬくまくらのしたやきりぎりす

しらぎくのめにたてみるちりもなし

しらぎくよしらぎくよはじちょうはつよちょうはつよ

しろからしにはねもぐちょうのかたみかな

しろからしやしぐれのはなのさきつらん

しらつゆもこぼさぬはぎのうねり哉

じょうせきやふるいのしみずまづおとずれはん

しろずみやかのうらしまがろうのはこ

しんわらのだしはじめてはやきしぐれ哉

みずがくものりものかさんそらのかわ

すいせんやしろきしょうじのともうつり

すくみくだりやもうえにこおるかげぼうし

すずしさのさしずにみゆるすまゐかな

すずかぜやほのみかづきのはぐろさん

すずしさやじきにのまつのえだのかたち

すずしさやうみにいれたるもがみがわ

すずしさやほのみかづきのはぐろさん

すずしさをえにうつしけりさがのたけ

すずしさをひだのこうがさしずかな

すずしさをわがやどにしてねまるなり

すすはきはおのれがたなつるだいくかな

すすはきはすぎのこのまのあらし哉

すずめことこえなきかはすねずみのす

すずりかとひろえふやくぼきいしのろ

すまでらやふかぬふえきくきのしたやみ

すまのあまのやさきになくかかっこう

すまのうらのとしとりぶつやしばいちわ

すみつかぬたびのこころやおきごたつ

するがろやはなたちばなもちゃのにおいひ

せつかれてとしわすれするきげんかな

ふしきこうのくればふうがもしわす哉

ぶしきこうをすずめのわらいふしゅったつかな

せきもりのやどをくいなにとえはうもの

せりしょうやすそわのだいのはつごおり

せんすにてさけくむはなのこかげかな

そうあさがおいくしにかえるほうのまつ

そうかいのなみしゅくさしきょうのつき

ざつすいにびわきくのきの霰かな

ぞうりのしりおりてかえらんやまざくら

そでのいろよごれてさむしこねずみ

そでけがすらんたにしのあまのすきをむみ

そのかたちみばやかれきのつえのなが

そのたまやはぐろにかへすほうのつき

そのにおいひももよりしろしすいせんはな

そのままよつきもたのまじいぶきやま

そばはまだはなでもてなすやまじかな

そばもみてけなりがらせよのらのはぎ

すりすててくろかみやまにころもさら

でんいちまいうえゑてたちさるやなぎかな

だいりびなにんぎょうてんのうのぎょうとかや

たかうなやしずくもよよのしののろ

たかのめもいまやくれぬとなくうずら

たかひとつみつけてうれしいらこさき

だかすいにほしもたびねやいわのうえ

だれがむこぞしだにもちふふうしのとし

たけがりやあぶなきことにゆうしぐれ

たけのこやいとけなきときのてのすさみ

だこつぼやはかなきゆめをなつのつき

たちばなやいつののなかのかっこう

ななゆうの逢はぬこころやあめちゅうてん

ななゆうやあきをていむるよるのはじめ

たねいもやはなのさかりにうりあるく

たのしさやあおたにすずむみずのおと

たびがらすふるすはうめになりにけり

たびにあきてけふいくにちやらあきのかぜ

たびにやまいでゆめは枯野をかけめぐる

たびねしてみしやうきよのすすはらい

たびねしてわがくをしれやあきのかぜ

たびねよしやどはしわすのゆうづきよ

たびびととわがなよばれんはつしぐれ

たびびとのこころにもによしいのはな

だままつりきょうもやきばのけむり哉

たむけけりいもははちすににたるとて

ためつけてゆきみにまかるかみこかな

たやむぎやなかにもなつのほととぎす

だれやらがかたちににたりけさのはる

たわみてはゆきまつたけのけしきかな

たんだすめすめばとぞきょうのつき

苣はまだあおばながらになすびじる

ちちははのしきりにこいし雉のこえ

せんちょうだちふけゆくしょやのひえおろし

ちにたおれねによりはなのわかれかな

ちまきゆいふかたてにはさむがくがみ

ちょうしょうのはかもめぐるかはちたたき

ちょうどりのうわつきたつやはなのくも

ちょうのとぶばかりのなかのひかげ哉

ちょうのはねのいくたびえつゆるへいのやね

ちょうもきてすを吸ふきくのなます哉

ちょうよちょうよとうどのはいかいといはん

ぢりうせぬまつやふたきをさんつきごし

ちるはなやとりもおどろくきんのちり

づかもうごけわがなくこえはあきのかぜ

つきいづくかねはしずめるうみのそこ

つきかげやよんもんよんむねもただひとつ

撞鐘もひびくやうなりせみのこえ

つきかはなかといへどよんねむがいびき哉

つききよしゆぎょうのもてるすなのうえ

つきさびよめいちがつまのはなせむ

つきじゅうよんにちこよいさんじゅうきゅうのわらわべ

つきしろきしわすはころがねざめ哉

さかやきやひざにてをおくよいのやど

さかやきやみそかにちかきもちのおと

つきすむやきつねこはがるこのきょう

がつぞしるべこなたへはいらせたびのやど

つきになをつつみかねてやとうそうのかみ

つきのかがみこはるにみるやめしょうがつ

つきのなかにまきえかきたししゅくのつき

つきのみかあめにすもうもなかりけり

つきはあれどるすのやうなりすまのなつ

つきはなのぐにはりだてんかんのいり

つきはなのぜやまことのあるじたつ

がつはなもなくてさけのむひとり哉

つきはやしこずえはあめをもちながら

つきまちやうめかたげゆくしょうやまぶし

つきみするざにうつくしきかおもなし

つきみせよたまえのあしをからぬせん

つきみてもものたらはずやすまのなつ

つきやそのはちのきのひのしためん

つきせつとのさばりけらしねんのくれ

づくりなすにわをいさむるしぐれかな

つたしょくゑてちくよんごほんのあらしかな

つたのははむかしめきたるこうよう哉

つつじいけてそのかげにひだらさくおんな

つねにくきがらすもゆきのあさ哉

つまみけんやちゃをこがらしのあきともしりで

つゆいててふでにくみほすしみず哉

ろとくとくこころみにうきよすすがばや

づるなくやそのこえにばしょうやぶれぬべし

づるのけのくろきころもやはなのくも

ていきんのおうらいだれがぶんこよりけさのはる

しゅにとらばきえんなみだぞあつきあきのじも

てばなかむおんさへうめのさかり哉

てらにねてまことがおなるつきみかな

てをぶてばきだましいにあくるなつのつき

てんびんやきょうえどかけてせんだいのはる

とうがらしおもひこなさじもののたね

とうがやたがひにかわるかおのかたち

とうきびやのきばのはぎのとりちがえ

とうきよりあはれはづかのすみれそう

とうとがるなみだやそめてちるこうよう

とうとさにみなおしあひぬごせんぐう

たふとさやゆきふらぬひもみのとかさ

とぎなほすかがみもきよしゆきのはな

ゆかにきていびきにはいるやきりぎりす

ねんくれぬかさきてわらじはきながら

ねんねんやさくらをこやすはなのちり

ねんねんやさるにきせたるさるのめん

としのいちせんこうかいひにででばやな

としはひとにとらせていつもわかえびす

どてのまつはなやこぶかきしんがりづくり

どのくちにやどさつなのれほととぎす

ともかくもならでやゆきのかれおばな

とりさしもざおやすてけんほととぎす

やんまやとりつきかねしくさのうえ

どんみりとぶなやあめのはなぐもり

なほみたしはなにあけゆくかみのかお

なかなかにこころをかしきろうげつ哉

なかやまやこしじもつきはまたいのち

ながきひもさえずりたらぬひばり哉

よむるやえどにはまれなやまのつき

なきひとのこそでもいまやどようぼし

なつかけてめいげつあつきすずみ哉

なつきてもただひとつはのいちようかな

なつそうにふうきをかざれへびのころも

なつそうやへいどもがゆめのあと

なつそうやわがせんだつちてへびからん

なつこだちはくやみやまのこしふさげ

なつころもいまだしらみをとりづくさず

なつちかしそのくちたばへはなのかぜ

なっとうきるおとしばしまててはちたたき

なつのつきごゆよりででてあかさかや

なつのよるやくずれてあけしひやしぶつ

なつのよるやきだましいにあくるげたのおと

なつやまにあしだをおがむしゅとかな

なつはあれどるすのやうなりすまのつき

なでしこにかかるなみだやくすのきのろ

なでしこのあつさ忘るるのぎくかな

ななかぶのはぎのせんほんやほしのあき

なにくうてしょういえはあきのやなぎかげ

なにごとのみたてにもにずさんにちのつき

なにごともまねきはてたるうす哉

なにとはなしになにやらゆかしすみれそう

なににこのしわすのしにゆくがらす

なにのきのはなとはしらずにおいかな

なんはつやたにしのぶたもふゆごもり

さいばたけにはなみがおなるすずめ哉

なまぐさししょうさいねぎがうえのはやのはらわた

なみだしくやゆぎょうのもてるすなのろ

なみのはなとゆきもやみずのがえりはな

はのまやしょうかいにまじるはぎのちり

なむほとけそうのだいもすずしかれ

ならななじゅうしちどうがらんはちじゅうざくら

なりにけりなりのけりまでとしのくれ

なるみかたやあおたにかわるいちみどり

にめんのしたたきたつるよさむ哉

さいかひがしかまづさなえにもかぜのおと

にあいはしやしんねんふるきべいごしょう

にあいはしやまめのこなめしにさくらがり

にわはいてだしでばやてらにちるやなぎ

にわはきてゆきを忘るる帚かな

ぬすっとにあうたよるもありとしのくれ

ぬれていくやひともをかしきはぎうす

ねぎしろくあらいひたてたるさむさかな

ねこのこいやむときねやのおぼろづき

ねこのつまかまどのくずれよりつうひけり

ねたるはぎやようがんぶれいはなのかお

ねのひしにとへいかんとももがな

ねはんえやしわてあいするじゅずのおと

ごうかんのきのはごしもいやへほしのかげ

のうなしのねむたしわれをぎょうぎょうし

のれんのおくものふかしきたのうめ

のざらしをこころにかぜのしむみかな

のみあけてはなせいにせんにしょうだる

のみしらみばのにょうするまくらもと

のりじるのてぎわみせけりあさぎわん

のをよこにうまびきむけよほととぎす

這ひでよ飼屋がしたの蟾のこえ

はぎはらやいちやはやどせやまのいぬ

はこねこすひともあるらしけさのゆき

はしげたのにんはつきのなごり哉

ばせをうえゑてまづにくむおぎのふたば哉

まけおちんとしてざんむざんげつちゃのけむり

ばじょうねむからんとしてざんむざんげつちゃのけむり

ばしょうのわけしてたらいにあめをきくよるかな

ばしょうばをはしらにかけんいおりのつき

はすいけやおりらでそのままたまさい

はちすのこうをめにかよはすやめんのはな

はだかにはまだころもさらぎのあらしかな

はたけうつおとやあらしのさくらあさ

しょしゅうやうみもあおたもいちみどり

しょしゅうやたたみながらのかやのよぎ

はつうまにきつねのすりしあたま哉

はちきゅうけんそらでうふるやなぎかな

はつさくらおりしもきょうはよきひなり

はつしぐれざるもしょうみのをよくしげなり

はつしぐれはつのじをわがしぐれ哉

はつじもやきくひえはつむるこしのめん

はつたけやまだにっすうへぬあきのろ

はつはなにいのちななじゅうごねんほど

はつまくわよっつにやたたんわにきらん

はつゆきにうさぎのかわのひげつくれ

はつゆきやいつだいぶつのはしらりつ

はつゆきやかけかかりたるはしのうえ

はつゆきやこうひいおりにまかりある

はつゆきやすいせんのはのたわむまで

はつゆきやせいこぞうがきゅうのいろ

ばとのこえみににゅうみわたるいわと哉

はなあやめいちやにかれしもとめば哉

はなざかりやまはひごろのあさぼらけ

はなさきてななにちづるみるふもと哉

はなとみといちどにふりのさかりかな

はなにあかぬなげきやわがうたぶくろ

はなにあそぶあぶなくえひそともすずめ

はなにいやよせけんくちよりかぜのくち

はなにうきよわがさけしろくめしくろし

はなにねぬこれもるいかねずみのす

はなにやどりひょうたんときとみずからいへり

はなによいへりはおりきてかたなさすおんな

はなのかおにはれうてしてやおぼろづき

はなのかげうたいににたるたびね哉

はなのくもがねはうえのかあさくさか

はなはしずのめにもみえけりおにあざみ

はなみなかれてあはれをこぼすくさのたね

はなみにとさすふねおそしやなぎはら

はなむくげはだかわらべのかざし哉

はなをやどにはじめおわりやにじゅうにちほど

はにそむくつばきのはなやよそしん

はふくちのひかげやよわるゆうすずみ

はまぐりにきょうはうりかつわかなかな

はまぐりのいけるかひあれねんのくれ

はまぐりのふたみにわかれゆくあきぞ

はやくさけきゅうにちもちかしきくのはな

ばらちゅうやものにもつかずなくひばり

はりりつやかたにづちうつからころも

はりぬきのねこもしるなりけさのあき

はるかにふきだしわらうはなもがな

はるさめのきのしたにつたふしみずかな

はるさめやはちのすつたふやねのもり

はるさめやふたばにもえゆるなすびしゅ

はるさめやみのふきかへすせんりゅう

はるさめやよもぎをのばすそうこうのみち

はるたちてまだきゅうにちののやまかな

はるたつとわらはもしるやかざりなわ

はるたつやしんねんふるきべいごしょう

はるなれやなもなきやまのうすかすみ

はるのよるはさくらにあけてしまひけり

はるのよるやこもりとゆかしどうのすみ

はるもややけしきととのふつきとうめ

はるやきたしねんやくだりきけんしょうみそか

しゅもつにさわるやなぎのたわわ哉

はんにちはかみをともにやとしわすれ

ぴいとなくしりこえかなしよるのしか

とうざいあはれさひとつあきのかぜ

ひげふうをふいてぼしゅう嘆ずるはだれがこぞ

ひごろにくきがらすもゆきのあさ哉

いちおねはしぐるるくもかふじのゆき

いっせいのえによこたふやほととぎす

ひとごえやこのみちかえるあきのくれ

じんごとのくちにあるなりしたもみじ

いちりはみなはなもりのしそんかや

いちじうつぶてやふってこいしかわ

ひとつぬいでのちにまけひぬころもがへ

いっかにゆうじょもねたりはぎとつき

いちつゆもこぼさぬきくのこおりかな

いちとせにいちどつまるるなずなかな

ひとにいえをかいはせてわれはとしわすれ

いちにちいちにちむぎあからみてなくひばり

ひとびとをしぐれよやどはさむくとも

ひともみぬはるやかがみのうらのうめ

ひとりあまわらやすげなししろつつじ

びにかかるくもやしばしのわたりどり

びのみちやあおいかたむくさみだれ

ひばりなくなかのひょうしや雉子のこえ

ひばりよりそらにやすらふとうげかな

ひやひやとかべをふまえてひるね哉

ひゃくりらいたりほどはくもいのかすずみ

びょうかりのよさむにおちてたびね哉

びょうぶにはやまをかくかいてふゆごもり

ひよろひよろとなおつゆけしやおみなえし

ひらひらときょぐるおうぎやくものみね

びらみかみせつさしわたせさぎのはし

ひるがおにこめつきやすむあはれなり

ひるがおにひるねせうものゆかのやま

ひるはなほはらびょうはんのあつさかな

ひれふりてめじかもよるやおとこかしま

ここはなのみじかよねむるひるま哉

びわいきのよるやしゃみせんのおと霰

びははなにくれてさびしやあすならう

ひんやまのがまじもになくこえさむし

ふうげつのざいもはなれよふかみそうこう

ふうりゅうのはじめやおくのたうえか

ふきおろすあさまはいしののわけ哉

ふきおとすいしはあさまののわけ哉

ふきとばすいしはあさまののわけかな

ふくかぜのなかをさかなとぶおはらいかな

ふぐつらんりりょうななりのなみのゆき

ふじのかぜやおうぎにのせてえどみやげ

ふじのじつははいかいにせんはなのあと

ふじのやまのみがちゃうすのくつがえかな

ふじのゆきおもんばかなまがゆめをきずかせたり

ぶしょうさやかきおこされしはるのあめ

ふたまたにわかれぞめけりしかのかく

ににんみしゆきはことしもおりけるか

ににちにもぬかりはせじなはなのはる

ににちえいものかははなのあるあひだ

ふなあしもやすむときありはまのもも

ふづきやろくにちもつねのよるにはにず

ぶんならぬいろはもかきてかちゅう哉

ふゆごもりまたよりそはんこのはしら

ふゆしらぬやどやもみするおと霰

ふゆにわやつきもいとなるむしのぎん

ふゆのたのもうえにすくむかげぼうし

ふゆのひやもうえにこおるかげぼうし

ふゆぼたんせんちょうよゆきのほととぎす

ふらずともたけうえうるひはみのとかさ

ふうれのかりあはれなりえびすこう

ふるいけやかえるとびこむみずのおと

ふるおとやみみもすうなるうめのあめ

ふるかわにこびてめをはるやなぎかな

ふるきなのつのがやこいしあきのつき

きゅうさとやへそのおになくとしのくれ

ふるすただあはれなるべきとなりかな

ふるはたけやなづなつまみゆくおとこども

ふんべつのそこたたきけりとしの昏

へびしょくふときけばおそろし雉子のこえ

べんけいがきゅうをもかざれかみのぼり

ほおずきはみもはもからもこうよう哉

ほうらいにきかばやいせのはつびん

ほしざきのやみをみよとやなくちどり

ほたるびのひるはきえつつはしらかな

ほたるみやせんどうようておぼつかな

ぼたんしべふかくわけでづるはちのなごりかな

ほっくなりまつおももあおやどのはる

ほととぎすいまははいかいしなきよ哉

ほととぎすうらみるのたきのうらおもて

ほととぎすおおたけやぶをもるつきよ

ほととぎすかつおをしめにけりけらし

ほととぎすきえゆくえやしまひとつ

ほととぎすこえやよこたふみずのうえ

ほととぎすなくなくとぶぞせわしはし

ほととぎすなくおとやふるきすずりばこ

ほととぎすなくやごしゃくの菖草

かっこうまねくかむぎのむらおばな

ほととぎすしょうがつはうめのはなさきけり

ほととぎすやどかるころのふじのはな

ほろほろとやまぶきちるかたきのおと

まえがみもまだわかそうこうのにおいひかな

まぐさおうひとをしおりのなつの哉

まづしゅくへうめをこころのふゆごもり

ますかうてふんべつかほなるつきみかな

まづしるやむべたけがたけにはなのゆき

さきづたのむしいのきもありなつこだち

またぬのにさいうりにきたかほととぎす

またもおとずれへやぶのなかなるうめのはな

またやたぐひながらのかわのあゆなます

まちいしややしきかたよりこまむかえへ

まつかぜのらくようかみずのおとすずし

まつかぜやのきをめぐってあきくれぬ

まつすぎをほめてやかぜのかをるおと

まつたけやかぶれたほどはまつのかたち

まつたけやしらぬこのはのへばりつく

まつなれやきりえいさらえいとひくほどに

まつはなやふじさぶろうがよしのやま

またうどないぬふみつけてねこのこい

まどがたにひるねのだいや簟

しんふくだがはかまよそふかつくづくし

まゆ掃をおもかげにしてこうふんのはな

みいでらのもんたたかばやきょうのつき

みおくりのうしろやさびしあきのかぜ

みかづきにちはおぼろなりそばのはな

さんかげつやあさがおのゆうべつぼむらん

みかづきやちはおぼろなるそばばたけ

みしやそのななにちははかのさんにちのつき

みずうみやあつさをおしむくものみね

みずさむくねいりかねたるかもめかな

みずとりやこおりのそうのくつのおと

すいのおくひむろひろぬるやなぎ哉

すいむけてあとおとずれひたまへどうみょうじ

さんじゅうじつげつなしせんねんのすぎをいだくあらし

みどころのあれやのわけののちのきく

みなででてはしをいただくじもろ哉

みなおがめふたみのしちごさんをとしのくれ

みなづきははらびょうやみのあつさかな

みなづきやたいはあれどもしおくじら

みちのべのむくげはうまにくえはれけり

みちほそしすもうとりそうのはなのろ

みにしみてだいこんからしあきのかぜ

みのむしのおとをききにこよくさのいおり

とででてかみもたびねのにっすう哉

みやもりよわがなをちらせこのはかわ

みるかげやまだへんなりもよいづきよ

みるにわれもおれるばかりぞおみなえし

みわたせばよむればみればすまのあき

むかしきけちちぶどのさへすまふとり

むぎのほをたよりにつかむわかれかな

むぎのほやなみだにそめてなくひばり

むぎはえてよきかくれがやはたむら

むぎめしにやつるるれんかねこのつま

むぐらさへわかばはやさしやぶれか

むさしののつきのわかばえやまつしまたね

むさしのやいちすんほどなしかのこえ

むさしのやさはるものなききみがかさ

むざんやなかぶとのしたのきりぎりす

むすぶよりはやぱにひびくいずみかな

めいげつにふもとのきりやたのくもり

めいげつのだしずるやごじゅういちかじょう

めいげつのはなかとみえてめんばたけ

めいげつのみどころといはんたびねせん

めいげつはふたつすぎてもせだのつき

めいげつやいけをめぐりてよもすがら

めいげつやうみにむかへばななこまち

めいげつやざにうつくしきかおもなし

めいげつやこたちならぶどうのえにし

めいげつやもんにさしくるしおがしら

めいげつやきたぐにびよりさだめなき

めしあふぐかかあがちそうやゆうすずみ

おんなおとこかげにけがそろうてけむつかし

めづらしややまをでわのはつなすび

めでたきひとのかずにもはいらむろうのくれ

めにかかるときやことさらごがつふじ

めにのこるよしのをせたのほたる哉

めのほしやはなをねがいひのいとざくら

もちはなやかざしに插せるよめがきみ

もちせつをしらいととなすやなぎ哉

もちをゆめにおりむすぶしだのくさまくら

もにすだくしらうおやとらばきえぬべき

ものいへばくちびるさむしあきのかぜ

ぶつかいておうぎひきさくなごりかな

ものずきやにおいはぬくさにとまるちょう

ぶつのなをさきづといふあしのわかばかな

もののふのだいこんにがきはなし哉

ものひとつひさごはかろきわがよかな

ものほしやふくろのうちのつきとはな

ひゃくさいのけしきをにわのらくよう哉

もものきのそのはちらすなあきのかぜ

もろきひとにたとへんはなもなつの哉

とうどのはいかいといはんとぶこちょう

もんにはいればそてつにらんのにほひ哉

やがてしぬけしきはみえずせみのこえ

やくらんにいづれのはなをくさまくら

やすやすとででていざよふつきのくも

やせながらわりなききくのつぼみ哉

やどかりてなをなのらするしぐれかな

やどりせんあかざのつえになるひまで

やなぎごうりへんにはすずしはつまくわ

やぶつばきもんはむぐらのわかばかな

やまかげやみをやしなえはんふりばたけ

やまがつのおとがひ閉づるむぐらかな

やまざくらかわらぶきくものまづふたつ

やまざとはまんさいおそしうめのはな

やまじきてなにやらゆかしすみれそう

やましろへいでのがこめかるしぐれ哉

やまでらのかなしさつげよところほり

やまでらやいしにしみつくせみの聲

さんちゅうやきくはたおらぬゆのにおい

やまのすがたのみがちゃうすのくつがえかな

やまはねこねぶりていくやゆきのすき

やまぶきのろなのはなのかこちかおなるや

やまぶきやうじのほいろのにおいふじ

やまぶきやかさにさすべきえだのかたち

やまもにわもうごきはいるるやなつざしき

やみのよときつねしたはうたままくわ

ゆうがおにかんぴょうむいてあそびけり

ゆうがおにこめつきやすむあはれなり

ゆうがおにみとるるやみもうかりひよん

ゆうがおのしろくよるるのこうかにしそくとりて

ゆうがおやあきはいろいろのひさご哉

ゆうがおやようてかおだすまどのあな

ゆうばれやさくらにすずむなみのはな

ゆうにもあさにもつかずふりのはな

ゆきうすししらうおしろきことちょっと

ゆきかなしいつだいぶつのかわらぶき

せつちるやほやのすすきのがりのこし

ゆきとゆきこよいしわすのめいげつか

ゆきのあさひとりひさけをかみえたり

せつのなかはひるがおかれぬひかげ哉

せつのふぐひだりしょうみなづきのこい

ゆきまよりうすむらさきのめうど哉

せつやすなばよりおちよさけのよい

せつをまつじょうごのかおやいなびかり

いくあきのからしにせまりてかくれけり

いくあきのなほたのもしやあおみかん

いくあきやてをひろげたるぐりのかさ

いくあきやみにひきまとふさんぬのぶとん

いくくもやいぬのかけにょうむらしぐれ

いくこまのむぎになぐさむやどりかな

いくはるにわかのうらにてついひつきたり

いくはるやとりなきうおのめはなみだ

いくはるをおうみのひととおしみける

いくもまたすえたのもしやあおみかん

ゆのなごりいくどみるやきりのもと

ゆのなごりこよいははだのさむからん

ゆずのはなやむかししのばんりょうりのはざま

ゆめよりもげんのたかぞたのもしき

ゆをむすぶちかいひもおなじせきしみず

ようてねんなでしこさきけるいしのうえ

よきいえやすずめよろこぶせどのあわ

よぎひとついのりだしてたびねかな

よぎはおもしごたかしにゆきをみるあらん

よくみればなずなはなさくかきねかな

ぎあさのこころににたりあきのかぜ

よしなかのねざめのさんかつきかなし

よしのにてさくらみせうぞひのきかさ

よすがらやたけこおらするけさのじも

よつごきのそろはぬはなみしん哉

よにおりしじんにとらせんきそのとち

よにもるはなにもねんぶつもうしけり

よににおいへばいかいちえだのみそさざい

よにふるもさらにそうぎのやどりかな

べいくるるともをこよいのつきのきゃく

よのなかはいねかるころかくさのいおり

よのなつやこすいにうかむなみのうえ

よのひとのみつけぬはなやのきのぐり

しほうにうつなずなもしどろもどろ哉

よをたびにだいかくおだのいきもどり

よるひそかにむしはげっかのくりをうがつ

らんのこうやちょうのつばさにたきものす

りゅうみやもきょうのしおじやどようぼし

りゅうもんのはなやじょうごのみやげにせん

りょうのてにももとさくらやくさのもち

るすにきてうめさへよそのかきほかな

るすのまにあれたるかみのらくよう哉

ろくがつやみねにくもおくあらしやま

ろくりななりひごとにかわるはなみ哉

ろのこえはをうってはらわたこおるよるやなみだ

ろびらきやさかんおいいくびんのじも

わかばしてごめのしずくぬぐはばや

わがころもにふしみのもものしずくせよ

わがためかづるはみのこすせりのめし

わがやどはかのちいさきをちそうかな

わがやどはしかくなかげをまどのつき

わかれたんやかさしゅにさげてなつはおり

はんへばもちをもくえはずもものはな

わすれぐさなめしにつまんとしのくれ

わすれずばさよのなかやまにてすずめ

わするなよやぶのなかなるうめのはな

わせのこうやわけはいるみぎはありいそうみ

わたゆみやびわになぐさむたけのおく

わびてずめつきわびときがならちゃか

わらいふべしなくべしわがあさがおのしぼむとき

わがとめりしんねんふるきべいごしょう

われににるなふたつにわれしまくわうり

われもかみのひさうやあおぐうめのはな